

私の住むまちのフィールドワーク

18N1014 今井彩花

－ 00 動機 －

昔から住んでいる千葉市稲毛区の現在と昔の地図を比べてみるとよく行く稲毛海岸の埋め立てに気が付いた。

そしてコロナ中でも密ではない開放的な場所である海に人が集まってたため今回を機に詳しく調べてみようと思った。自分の住む近くの海の海岸線の遷都、またその近くの神社に着目した。

－01 プログラム計画－

過去と現在のマップを比較しその歴史的地域背景を調べて考察する。

またその結果もたらされた現在の実情を合わせて考える。

この課題を通して自分に馴染みのある地について深く知るきっかけにする。

- 02 海岸線の変化 -



元々海であった部分を埋立地となっていた。
元の海岸線は今の国道沿いになっていた。

－03 今昔の比較写真－

▽海岸線が現在の国道部分までであったころの写真



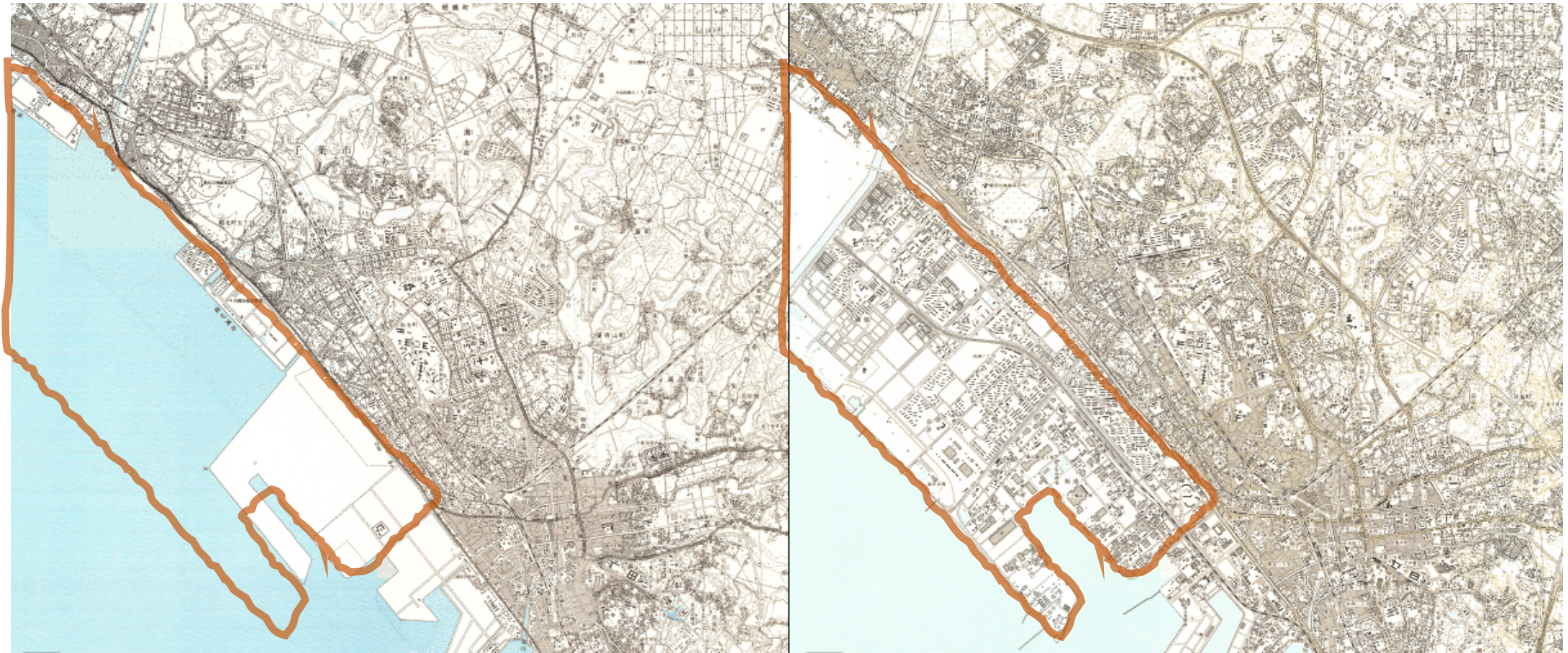
▽現在の国道沿いの写真



両写真 右側が埋立地・海
左側が陸地

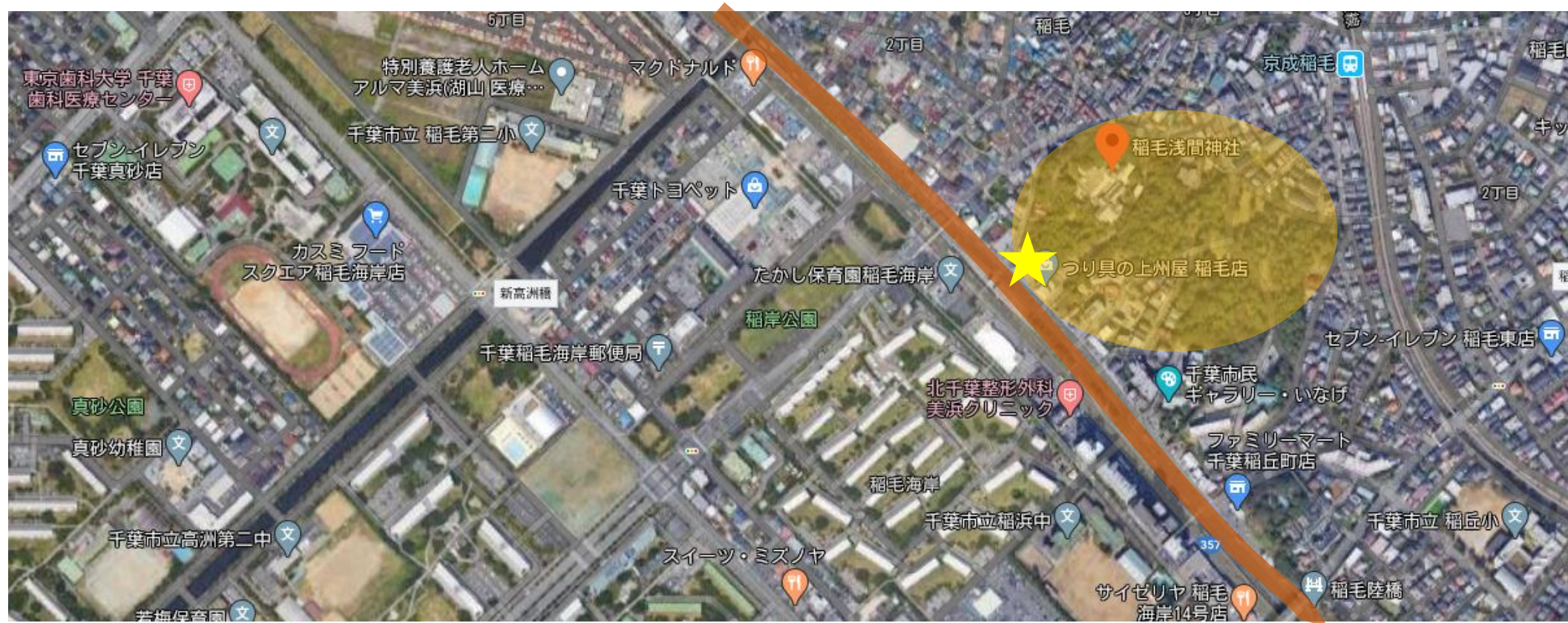
になっている。

－04 埋立地完成前後－



国際色豊かな都市機能と、住環境を高度に融合させた未来型の都市を
形成するためつくられた。
その結果、市域でも重要な都市機能を持った。

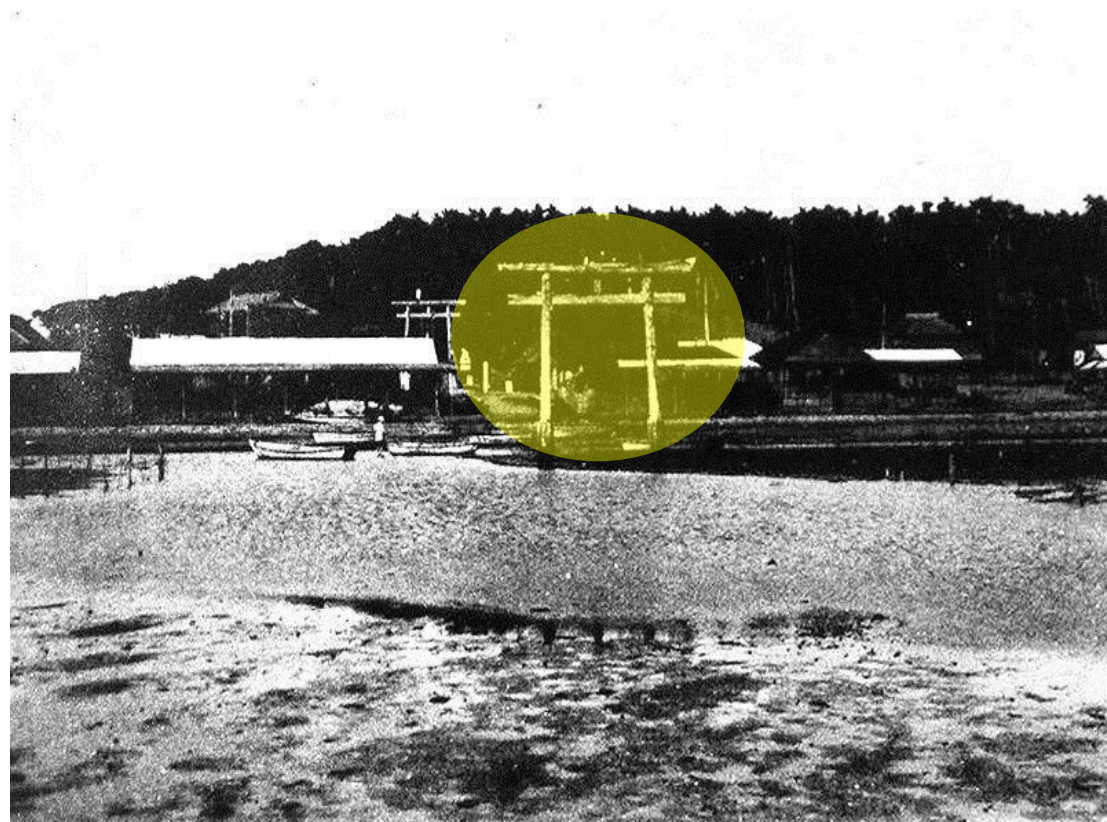
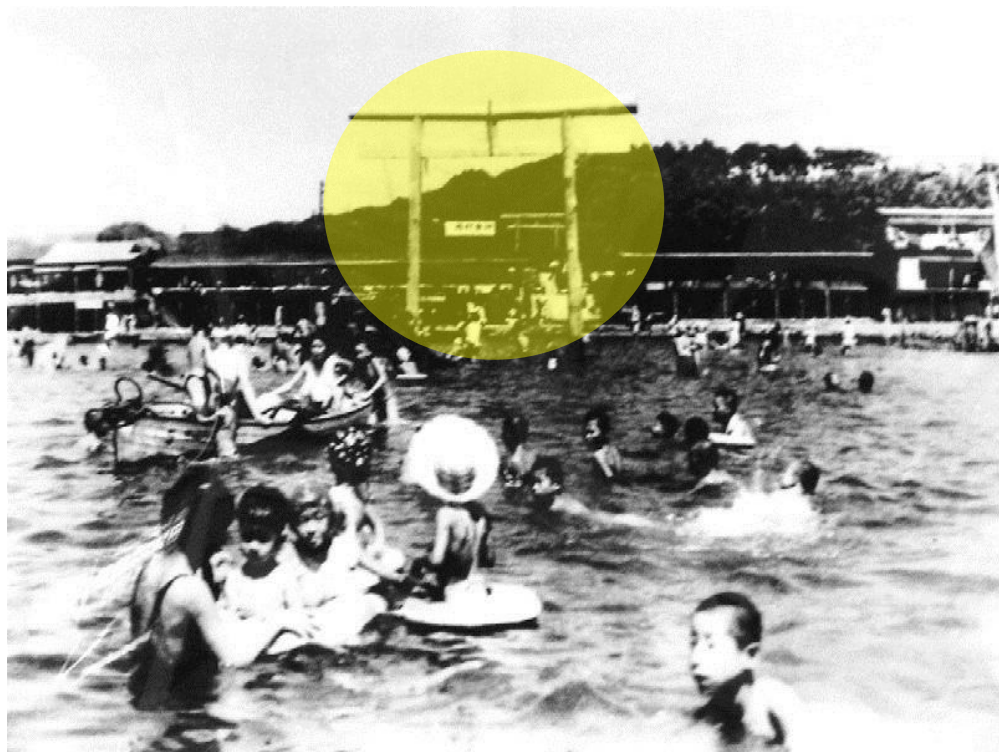
－05 浅間神社－



国道の位置・浅間神社の入り口の鳥居の位置(★)・浅間神社の位置
左側が現在の海岸沿いになっている。
過去の海沿いに合わせて鳥居が作られたため今も変わらず国道沿いの
見える位置にあることがわかる。

－06 浅間神社 鳥居－

▽海岸線が国道沿いまであった頃(1896年)からあった浅間神社の鳥居と▽
目の前の海で遊ぶ人たち



-06 浅間神社 鳥居-

▽この位置からの写真



神社の入口
以前からの変わらない場所にある鳥居



奥に見える同じような鳥居は
この神社の駐車場の入り口の付いている。
目の前を車がよく通っている。

－07 最終結果－

このように今では多くの人が集まるようになった稲毛海岸。

そこは昔は海の中であり、

大きな改革により広い海岸線を手に入れることができた。

また、埋立地によって形成された千葉市美浜区を中心とした

この地域は、今では家からすぐに行ける海岸・海浜公園

により活気のある区域になっている。

コロナ中によりそれ以前の日常よりも、

でも自然的であり解放感のある場所の魅力強く実感した。

地元であり毎年初詣に行ってるような神社の

歴史や成り立ちのようなものを

過去の写真と合わせて比較し考えることで

今後訪れる時に今までとは違った気持ちを持

つことができると思った。

コロナで今までよりも高頻度で訪れた海辺にて撮れた

右の写真のような

身近にある自然や過去からの移り変わりを

大切にしていきたいと思うようになり、

良い経験になった。

